

科目名		理学療法評価学実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択
〔授業の目的・ねらい〕								
評価学で身に付けた評価技術を用い、実際に各疾患を評価していく。								
〔授業全体の内容の概要〕								
疾患に応じた評価項目の列挙を行う。理学療法評価学Ⅰ・Ⅱで身に付いた正常者への評価方法から疾患別に評価方法を選択し、疾患別の障害像にあった主要評価方法を練習する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①各疾患の特性に応じた評価項目が選択できる ②選択した項目を客観的な評価ができる								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	オリエンテーション							
3	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
4	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
5	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
6	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
7	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
8	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
9	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
10	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
11	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
12	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践							
13	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
14	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
15	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
16	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
17	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
18	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
19	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
20	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
21	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
22	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践							
23	復習							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
理学療法評価学	松澤 正・他	金原出版株式会社

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記テストを行い評価する。